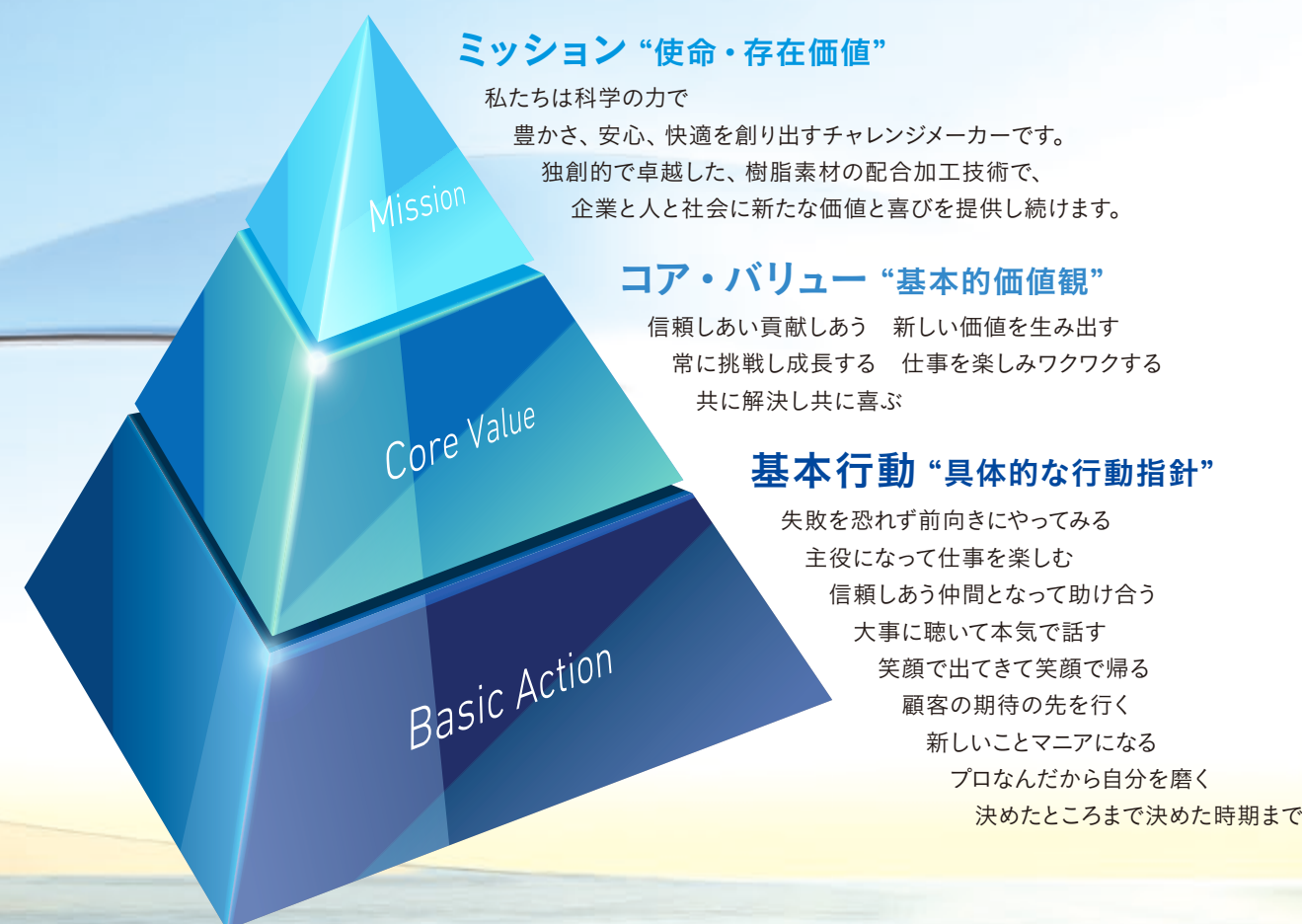




## 価値創造の全体像

# リケンテクノス ウェイ

リケンテクノスグループは、  
顧客の期待の先に行くチャレンジメーカーとして、  
企業と人と社会に新たな価値と喜びを提供し続けます。



## Ⅰ 受け継がれる挑戦の精神

創業当時から受け継がれている「ベンチャー精神」こそ、リケンテクノスグループの原点であり、変わらぬ強みです。この精神を「リケンテクノスらしさ」として明文化し、創業60周年の節目に、経営理念である「リケンテクノス ウェイ」を策定しました。ミッションに掲げる「チャレンジメーカー」という言葉には、製造業としてのメーカーに加え、挑戦によって新たな価値を創り出す存在でありたいという想いが込められています。

創業以来、当社は合成樹脂加工に関わる総合的な技術を基盤に、塩化ビニル樹脂（塩ビ）コンパウンドやフィルム、日本初となる食品包装用塩ビラップ、熱可塑性エラストマーコンパウンドの開発・製造・販売に挑戦し、数々の製品を世に送り出してきました。これらの製品は現在、当社の事業の柱となっており、資源の有効活用や省エネルギー化など環境負荷低減にも貢献する素材・製品としても注目されています。2001年に「リケンテクノス株式会社」へと社名を改め、現在は「トランスポーターション」「デイリーライフ＆ヘルスケア」「エレクトロニクス」「ビルディング＆コンストラクション」の4つの市場別セグメントを柱に、グローバルに事業を展開しています。

創業以来、当社の最大の強みである「人と技術」を原動力に、前例にとらわれることなく挑戦し、豊かさ、安心、快適を創り出すことを使命とし、常に時代の先を見据え、まだ顕在化していないお客様や市場の隠れたニーズを先回りして実現する企業でありたいと考えています。

「顧客の期待の先に行く」をはじめとする企業文化のグループ全体への浸透とともに、私たちの飽くなきチャレンジは続きます。



創業当時の9インチロール

## Ⅱ 理念を行動へー 従業員意識調査から見る組織文化の定着

当社グループでは、経営理念「リケンテクノス ウェイ」を従業員一人ひとりの行動につなげることを重視し、その浸透・定着に向けた取り組みを進めています。

その一環として、当社単体および国内連結子会社を対象に定期的に従業員意識調査を実施し、経営理念や各基本行動に対する理解度・共感度ならびに職場における実践状況を継続的に可視化しています。これらの結果は、当社のマテリアリティである「チャレンジメーカーに相応しい人材の育成」および「従業員エンゲージメントの向上」に関するKPIとして活用しています。

2025年度調査では、基本行動の実践度に関する設問へのポジティブ回答率が64%となり、経営理念の浸透が着実に進んでいることが確認されました。また、従業員エンゲージメントスコア（ポジティブ回答率）についても2024年度比で向上しており、経営理念への共感や働きがいの向上が結果として表れています。一方、これまでの調査においては、現場の意見を十分に吸い上げ切れていない点が課題として認識されていました。これを踏まえ、2025年度は、経営陣が自ら工場で統合報告書説明会を開催したほか、各拠点に赴いて若手従業員を中心とした座談会を実施し、その中で理念の共有を深め、対話の充実を図りました。こうした取り組みを通じて、理念浸透の深化と行動変容につなげています。今後も従業員の声を起点に、理念と実践が好循環する組織づくりを推進し、企業文化の強化を図っていきます。



統合報告書説明会（三重工場）



経営陣と従業員の座談会